

飯山北コミュニティセンター市長懇談会

○日 時：令和元年 7 月 20 日（土） 午後 7 時 00 分～8 時 00 分

○場 所：飯山北コミュニティセンター

○参加者：12 名

○担当者：市長

地域担当職員 高木（市民活動推進課）・佐岡（都市計画課）・小島（健康課）

1. 会長あいさつ

今晩は令和元年度の市長との懇談会ということでご案内しましたところ、大勢の方にお集まりいただきありがとうございます。コミュニティ活動を進めているが、その中で気になることや、地域の課題をお願いするので、よろしくお願ひしたい。

2. 市長あいさつ

今年も市長懇談会を開いていただきありがとうございます。毎年やらせていただいているが、この機会が私にとって非常に勉強になる。また、地域の課題を聞くこともできる。すぐにできることがあると非常に気分がいいが、なかなかできないこともある。しかし、徐々に解決に近づくということでお互い頑張っていけたらいいと思う。今までたくさんの事がこういった中で進んできたと感じている。今日も皆さまのご意見をできるだけ聞いていきたい。

3. 丸亀城石垣修復に向けて（市長）

昨年 7 月 7 日に最初の崩落が起きた。ちょうど一年後の 7 月 7 日に市民説明会を開催した。平成 8 年に保存の基本計画ができていて、計画的に修復を行っていた。合併直後の財政難の時期に、修復がストップした。その後 10 年間、最低限の維持管理しかしていない状態が続いた。その間に若干痛みが進んだということで、26 年から 27 年にかけて、測量して修復をしようと、取り掛かっていた場所が崩落した。応急対策工事は先般完成した。今後、本格的に石を取り除いて下から積んでいくという復旧工事に入っていく。2023 年、令和 5 年度の終わりまでには全て完成するというところで、今のところ予定通りの進捗である。応急対策工事は地元の建設会社が行い、本格復旧工事は鹿島建設が第一施工者になっている。お城の北側は非常に硬い岩盤であるが、南側は盛り土で、非常に雨に弱く崩れる可能性がある。下側の帯曲輪の石垣が、内側に

水が溜まり押されて、外側に向いて倒れている。崩れて支えを失ったので、上側が円弧滑りを起こして崩れた。翌日には石垣対策本部を作って全庁での取り組みを行った。お蔭で順調に進んでおり、募金も 3 億円を超える募金をいただいた。また、全国的に注目され、天守の入場者数は史上最高になるかと思っている。この復旧過程も一つの観光資源として取り組んでいきたい。

4. 懸案事項

(1) 国道 438 号線の 4 車線化に伴う車用信号機の設置について等（会長）

旧飯山町が合併して 14 年目を迎える。この地域もずいぶん様子が変わって、大東川も改修工事がされ上車橋では毎回水位が上がっているが大事には至ってない。国道 438 号線工事についても一部全面開通ということで進んでいる。同時にその周辺には、大きなスーパーができ、随分変わってきた。その国道 438 号線が全面開通になる時までには、交通量も増えるので、今の歩行者専用の押しボタン式信号機ではなく、車専用の信号機の設置をお願いしたい。2 点目は、飯山北のコミュニティセンターの改修の計画についてである。昭和 51 年に当時老人福祉センターとして建てられ約 44、5 年経っている。コミュニティ活動で問題になっているのが、厨房の施設がない。地震の避難所から除外されている状況である。市の第二次総合計画の中でコミュニティの活性化、コミュニティセンターの整備計画もされているので、できるだけ早く飯山北コミュニティセンターをお願いしたい。今月 3 日に、飯山北コミュニティセンター建設検討委員会を設立した。今年度中に耐震補強をするか、新築移転をするかワークショップで検討して、市へ要望することになっている。できるだけ早く整備の基本方針をお願いしたい。それから 3 点目の台風や地震などに備えた総合的な防災対策についてである。昨年、飯山の北地域で、総合運動公園の土砂崩れや近くの民家の土砂崩れがあった。飯山町は丸亀市都市計画マスタープランの将来像をみると急傾斜地の崩落対策を進めていくということが 20 年計画に入っているが、できるだけ早めをお願いしたい。

（市長）

まとめて回答させていただく。まず国道 438 号線の信号を中心とした整備について、整備状況は皆さんも見てご存じだと思う。当面は県道善通寺・綾歌線、さらに進んで綾歌町境まで当面 2 車線で整備するという県の方針である。従って、4 車線全面開通となるのは、少し先になる。最終的には正規の信号をつけるのは当然のことであり、接続道路の市道も 4 車線になる時は整備も必要であると理解しているが、2 車線供用期間は交通量をみながらこれまで通りの対策を取っていくことになる。引き続き地元

の皆さんの要望や現状をよく確認し、また監視しながら事故が起こらないような対策を考えたい。

次に、コミュニティセンターですが、検討委員会を作ってくださいありがとうございます。丸亀市内のコミュニティセンターは、旧の耐震基準で作られたものが9つあり、それを耐震診断して順番に改築をしてきた。去年までに郡家、土器、広島、栗熊、城坤が新しいものになっている。広島は学校を改修し、栗熊は耐震補強改修を行った。あとは改築である。今年度は飯野が工事に入り、垂水は地元の皆さんの意見を聞いて設計がほぼ終わって、その次の工事になる。本島と飯山北が残っているが、本島は小学校と中学校が一緒になる。人数も減っているので中学校の校舎が空く。そこを広島のように改築改修による整備を考えている。次が飯山北になるが、一度補強をしているので他より耐震性があるということで後になって申し訳なかった。お話があったようにワークショップを行い、十分皆さんの意見を聞き、その整備方針で行う。委員会と担当課と十分協議して、ぜひ市民の皆さんの意見を聞いて、それを反映していきたい。

大東川についてはなかなか進まないが、中讃土木に依れば、令和2年度までに富士ミサワ橋、令和3年度は新開橋付近までやりたいということだが、国の予算がなかなか付かない。順次やっていただくために強く要望している。

防災対策の関係では、防災行政無線の聞こえない地区が飯山北に多いということをかねてから指摘されていた。今年、防災行政無線を3機付け、サイレンだけは聞こえるという体制にしている。後は、きめの細かい、どこの家がどういう災害に弱い、危険があるということを細かく詰める必要がある。これは地区の防災計画というのを作っていただく。市でもお手伝いして作るという作業を進めたい。飯山北地区としての細かい防災計画、避難場所、避難順路、災害の危険性等を考えている。今年の実業として、防災士養成講座を丸亀市で開催するので、コミュニティの中でぜひ防災士を養成していただき、その方たちに地区計画を作るのに参加していただきたい。今までは半年くらいかかり、高松まで行って大変だったが、まとめて講習を受けて防災士になれるということなので積極的に使っていただきたい。

(会長)

三点ともに市長から積極的な前向きな回答をいただいた。コミュニティセンターの改修工事については、検討委員会で地域の意見をいただくことを考えているので、よろしくお願ひしたい。防災については、防災士は随分これまでに養成している。今年は近くであるので参加も考えている。皆さんの方からこの三点について、追加があれ

ばお願いする。

5. 自由討議

(男性)

防災士の講習を丸亀ですということだが、中讃広域でやるということか。

(市長)

丸亀の単独である。

(男性)

昨年この会でチャレンジデーの体育施設の無料開放をお願いしたが、早急に実現していただきありがとうございました。今年のチャレンジデーでは総合運動公園のサブアリーナを使い元気体操を行い好評だった。もう1点が、防災マップをもう少し地域単位で分かりやすくしてほしい。種類が3、4種類あるが1種類にまとめて欲しいという要望を提出した。つい最近の新聞報道で、市議会の質問でそういうのを今作っているということを聞いた。それも私達の要望を聞いていただきありがとうございました。今年も二点要望がある。検討課題で、これが即実現するという思いでは言っていない。1点目は、70歳以上の2割の証明書のようなものが来た。保険証は財布に入るが、これは財布に入らない。これも病院に行ったら必ず見せないといけない。なぜ証明書はこのサイズでなかったらいけないのか。ご検討いただきたい。もう1点、今年順番がまわってきて自治会長をしている。自治会費を集めて預金をする。そうした時に自治会名義で通帳が作れない。銀行協会が決まりがあるかも知れないが、作ろうと思ったら総会の議事録、会計の証明書、自治会長の身分証の3点がいる。自治会で議事録、議案書を作るとするのは到底無理である。それを作っていないと自治会として認められないのなら自治会を作る人は誰もいなくなる。今は自治会長が変わったらいちいち銀行に行って手続きをしないとけない。それを簡素化できないか、つまり市が発行した証明書で銀行がそれをOKできるようにしていただきたい。

(市長)

なんとかやれるようにしたい。保険証、受給者証のカードサイズについてはよく分かる。受給者証は持って行くものなので、担当とよく検討してみる。それから自治会の通帳についても、もっともである。自治会加入促進を丸亀市は言っているので、検討し、銀行と十分協議したい。

(民生委員 男性)

1 点目は、今丸亀市は市庁舎と複合施設の完成を目指してやっているが、完成後の機能面とか運用面のメリットについてお伺いしたい。丸亀市のホームページからの情報だが、基本実施設計というのが載っている。素晴らしいものができようとしている。去年の 12 月に基本設計が完成して、来年の 10 月 30 日に完成予定になっている。建物は本当に素晴らしいものができているが、ソフト面の機能、運用面の効果が少し明確でない。箱物はできて、働く人は環境がよくなるが、私達市民が本当に身近に感じるメリット、効果は具体的に何か。86 億～90 億投資している。それに対してどうなのかが見えてこない。例えば分散している部署が統合して仕事が早くなって、時間に余裕ができたので他のサービスをする、省力化する、ひとつの部署で完結する等。建物はできるが、中身、運用面をやって市民がよかったなと思うようなところをお願いしたい。

2 点目は新市民会館構想、1 万人の車座集会をされていた。去年の 5 月より集会が 87 回あって、延べ参加人数 823 人と出ていた。成果と活用についての考えを伺いたい。

(市長)

とても大事なことを言っていただいております。確かに運用面で考えていることはあるが、市民の皆さんにもう少しアピールして市民生活にどういう影響があるということを周知するように工夫したい。まだ固まってないことも部分的にある。市民交流活動センターという市民が活動するスペースができる。ここは民間の皆さんのノウハウで運営していただくという方向で今やっている。そういう途中経過も皆さんにお知らせするようにしたい。お城の広報が経験になり、その都度お知らせしなければならぬと考えている。全体がまとまることで、市民の皆さんにあっち行けこっち行けがないような役所を目指している。同じ名前を何度も書かないように考えている。新市民会館の車座集会は、今まで色々議論した中で、新しい市民会館の名前は、通称「みんなの劇場」と付けている。これはどういう意味があるかという、一部の文化芸術愛好家だけが使う市民会館ではない、貸館・貸ホールだけではない、社会的な機能を持った市民会館を作っていこうという流れでやっている。集会の中でも強く言われていて、その方向に行くと思う。建物自体は総合会館を除けて、そこに建てるので若干時期が遅れる可能性もあるが、中身を十分つめてそれも周知したい。

(会長)

丸亀市のホームページを見ると、お城が写って次にグーグルの地図が出る。その地図で飯山の北の方を見てみると新しくできた複合施設が何も載っていないので、更新して欲しい。もう一つは国道 438 号線をこれから南の方に進めていくという話だが、香川県で 3ヶ所目ぐらいであるが、ICTを活用してするらしい。行政サービスもス

マホ、タブレット、パソコンで対応できるようになるのかお聞きしたい。

(市長)

ホームページはチェックをする。ICTは通信の意味で、AIは人工知能と呼ばれているものである。事務の方ではRPAが言われている。これはパソコンの作業を自動的にするというようなものである。市も人手が非常に少ない中で新しいものが入るので間違いをなくす、作業を効率的に行うということで、AIとRPAを活用するプロジェクトチームを新たに作った。中讃広域の情報センターと協力してやる。近々、職員の研修会を行い、先進地事例を研究する。AIに任せることで、市民の皆さんと話す時間を増やす目的で行っている。

(会長)

AIの時代に相応しい丸亀市になるように願います。

(男性)

最近のコミュニティ活動のことで、感じたことを申し上げる。先日、それぞれのコミュニティで日頃の活動状況の取り組みの発表があった。飯山は福祉部で、認知症の活動を発表した。活動が非常に充実していて好評をいただいた。この18日に学習活動の一つとして出前講座を受け、人権課の職員から男女共同参画について非常に立派な講義を聞いた。その中で丸亀高校の演芸発表のDVDを60分見せていただき感動した。これをコミュニティ、いきいきサロンなどで披露したら非常にいいのではないか。これに関連して映画化すると新聞に掲載されていた。これからも丸亀市のために、地域のためにPRしていただきたい。

(市長)

コミュニティの活動は本当にいいことをしていただいている。お互いの地域の創意工夫が見られるような活動なので、飯山北の認知症の活動も見習ってやりたい。学校支援ボランティアも飯山北から広がっている。これからもぜひ頑張ってください。丸高の演劇部は今年全国二連覇を目指している。四国大会は優勝した。「フットボールの時間」は映画化の話があり、一億円ぐらいかかると言われている。それを今から集めてぜひ作りたいと思っている。ロケもぜひ丸亀市でもらいたいと思っているので、その時は皆さんにも協力をお願いしたい。

(男性)

コミュニティ活動でわんぱく学校というのをやっている。今年は子ども放課後教室も兼ねてやっている。以前にもお願いしたが、市のマイクロバスが土日は使えない。4月に有明浜に行ったが、その時は社協のマイクロバスを借りて運転手はこちらで雇っ

た。11月には子どもの国へ行く計画があるが、子供達は土日しか行けない。一年中でなくてもいいが、何かいい方法がないかと思っている。

(男性)

冬休み、春休み、夏休みは市のバスを借りれるが、休みでないときに困る。

(市長)

それについては検討させていただく。

(男性)

各行政の窓口の担当者を配置していただき、月1回の活動にも必ず出ていただいて、これは非常に市民の声が届いて大変喜んでいる。我々の声がすぐ返ってくる。